



11月7日、大府小学校のグラウンドで「第37回大府コミュニティ運動会」が、大府市長他、多くの来賓のご臨席を賜り盛大に開催されました。当日の朝は曇り空であったが、午後からはお日様が「コンニチハ」と顔を出して汗ばむほどでした。小学生から中学生は日頃鍛えた足を披露し、オジサマ・オバサマは日頃の運動不足を感じた1日でした。昼食は各自治会関係者は豪華弁当、中学生ボランティアと主催者側役員はおにぎり3個でした。ボランティアさんゴメンネ！



ふれあい

大府コミュニティだより

編集発行

大府コミュニティ
推進協議会

事務局

大府公民館
TEL48-1007

助けあう
家庭と地域を
創造しよう

—第29回 大府夏まつり—

7月31日、8月1日の両日、今年はずっと晴天に恵まれ、大府駅前を中心に盛大に開催された。大府小学校児童の金管バンドの演奏をはじめ、多くの団体の演技、子供会の七夕かざり、幼児は金魚すくいに興じたり…。圧巻は、幼児から腰の曲がったお年よりまで、多くの人が駅前ロータリーを周回する盆踊りであった。



クリーン・アップ・ザ・ワールド・イン大府



延命寺川土手のゴミ拾い

9月19日、延命寺川の清掃活動が実施された。大府保育園横で久野大府市長等の挨拶を受けた後、多くの参加者が新池から「パチンコ有楽」横までの清掃を行い、綺麗な堤防となりました。



大府コミュニティ会長の挨拶

第29回 大府公民館まつり

★ 出会い・語らい・ふるさとの文化と創造とふれあいを高めよう ★



孫の作品うまくできているかな



老人クラブ指導による子ども陶芸品



子どもに人気のゴーカート

10月2日、3日の両日、市役所関係者や多くの団体の来賓の挨拶、テープカットで大府公民館まつりがオープンした。日頃、公民館を利用して研鑽している各種団体、子供会等の成果が発表・展示され、多くの来場者で賑わった。館外では沢山の屋台が並び、美味しい食べ物が発売された。又、幼児向けには電動ゴーカートが好評で3回、4回と乗る子供もいた。



オープニングのテープカット



折形水引結びを学ぶ子どもたち



お手前ちょうだいいたします



身近に感じた。

山車はそれぞれの町内へともどって行った。
今までも祭礼には何らかの形で参加していたが、一日取材して、改めて地元の伝統文化を

で、三台の山車による「引き回し」。
笛と太鼓の音を響かせながら、砂を舞いあげて引き回される様は圧巻だ。その後、三台の

午後三時半。祭りのハイライトともいふべき「餅投げ」がはじまると、会場を埋め尽くした人の群れが大きくとよめいた。子どもも大人も一心にやぐらを見上げて、飛んでくる餅に我先にと手をのばす。豪華景品付きとあって(?) だれもが皆真剣だ。そしてクライマックスは、本殿前

境内奥の広場には、丸太で組んだ柵の前で駆け馬(おまんこ)を待つ馬たちが並び、神殿では雅楽の音にあわせ、巫女さんの舞が厳かに奉納されていた。

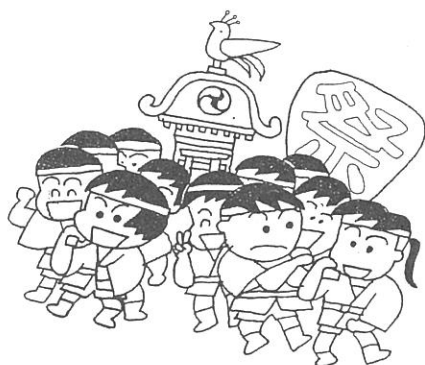
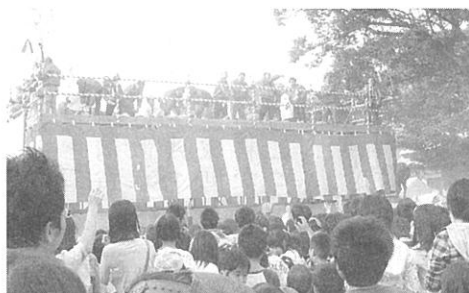
境内奥の広場には、丸太で組んだ柵の前で駆け馬(おまんこ)を待つ馬たちが並び、神殿では雅楽の音にあわせ、巫女さんの舞が厳かに奉納されていた。

10月17日(日) 熱田神社祭礼が盛大に開催された。
境内は早朝から、お祓いを待つ子ども獅子や神輿の列、揃いの法被に身を包んだ厄年の男たちで熱気に包まれていた。



現在巫女さんは小2、小5、中2の3つのグループ各4人で活動しています。おおよそ小1から中2の8年間巫女を務めます。大みそかにも奉納舞を見ることができます。

知っていますか？



熱田神社祭礼

10月17日(日)



朝から夕方まで屋台も出ます



子ども達が獅子や手作りの神輿で各家庭を巡り祝儀を頂きます



まずお祓いをしてから…



人馬一体となって駆け抜ける！



子ども用のポニー



手作りの子ども神輿



あの人この人

近世古文書研究

伊藤 啓信さん(中央町)

今回ご紹介するのは、大府郵便局横
(有)はんの伊藤の伊藤啓信さんです。

プロフィール



昭和21年丙戌
(ひのえいぬ)
生まれの伊藤さ
んは、多趣味で
かつ多方面でご
活躍中ですが、
今回は、近世古文書(こもんじょ)
研究家としてご紹介させていただきます。

現在、大府図書館に併設された大
府歴史民俗資料館で、毎月第2・4
水曜日に大府市古文書研究会が開催
され、併せて大府市文化財保護委員
会長、大府商工会議所支部長、印章
協同組合愛知県副理事長等々を兼務
されるなど忙しい日々を送ってい
らっしゃいます。年間20回以上出か
けていた趣味の一つでもある旅行に
も行けなくなったと嘆いておられま
した。ご旅行も古文書の関係で京都
方面の神社仏閣が多くなり、何が趣
味なのかわからなくなっているとい
ふこと。また、ご商売のハンコ(判
子)の関係で御朱印も集めていらっ
しゃるそうで、「なかなかいい印も
あるんですよ」と目を細めていらっ
しゃったのが印象的でした。

古文書研究は、もともと好きで始

めたことではなく、商工会青年部で
当時の「郷土史研究会」に否応なし
に入れられたのがきっかけだったそ
うです。初めは史料が全く読めな
かったそうですが、昭和57年に大府
市教育委員会から『大府市史』編纂
の依頼を受け、本格的に取り組み現
在に至っているということです。

近世(江戸以降)の文書は、文化も
文字も多様化して読解が難しい様
ですが、特に書き手と読み手の暗黙の
了解の上に成り立っている手紙は、
省略も多く、くずしも激しいので読
みづらいということ、今でこそ辞
書なしに読めるものの、当時はとて
も苦勞なされたそうです。伊勢湾台
風で大府近郊の多くの史料は散逸
し、個人所有のものはほとんど残っ
ていないのではないかと、もしご家庭
の押し入れや蔵に残っている史料が
あれば是非お見せくださいとのこと
でした。

今後は、郷土史・拓本・古文書・
考古学をあわせた「歴史民俗資料館
友の会」のような形で活動を続けら
れるといいが、とおっしゃっていま
した。また、史料の整理やデジタル
化、検索・閲覧できるようにシステ
ム作り等を手がけていかなければ、
とのこと。古文書研究会のメンバ
ーも全員50歳を超えてしまい、後進
の育成にも力を入れたいともおっ
しゃっていました。郷土史・拓本・
古文書等に興味のある方は是非ご連
絡ください。懇切丁寧に教えてくだ
さるそうです。

伊藤さんの「温故知新」の生活は、
まだまだ続くようです。

(北自政 柴田)

大府あれこれ

わが撞きてわが音として除夜の鐘

加倉井秋を

我が家では、大晦日に除夜の鐘を
撞くのが恒例となっている。今年の
鐘の音は少し曇っているかも知れな
いななどと一年を反省しながらも、
なにやら厳かで心洗われるような気
持ちになる。除夜の鐘を撞き、その
足で熱田神社に向かい、年が明ける
のを待って初詣をして、年男のふる
まう御神酒(子供達は甘酒)を頂く
という毎年の流れである。

皆さんも「わが撞きて」しばし煩
悩を忘れ、「わ
が音として」
新たな気持ち
で新年を迎え
られてはどう
ですか？
延命寺さん
と専唱院さん
では除夜の鐘
を撞かせてい
ただけます。
(いくばくかの
浄財をお忘れ
なく……)

来年も良い
年であります
ように。

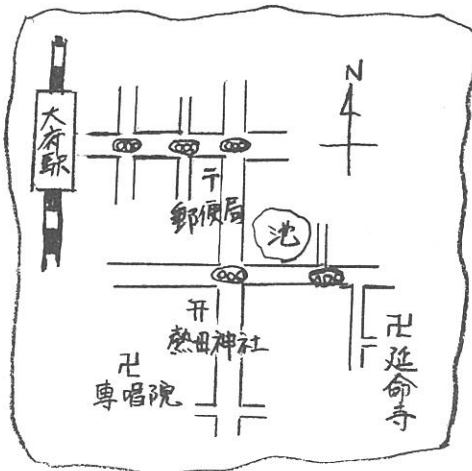
(北自政 柴田)



専唱院



延命寺



あとがき

大倉公園のかきつばたの池に、青い
河童の親子像があるのを知っています
か。あの岩手県遠野市から、はるばる
やってきた河童です。入り口のかやぶ
き門も遠野の職人さんたちがふき替え
てくれました。

10月22日、今年友好都市となった遠
野市から、しし踊りのみなさんとふた
りの語り部さんが大府にきてくださ
いました。無形文化財のしし踊りは、舞
も装束もまさに本物。そのすばらしさ
に感動し、次の日も産業まつりにかけ
つけました。「むがすあったずもな」
で始まる語りの数々も心にしみわた
りました。次は大府からの訪問団。皆さ
んも一度「永遠の日本のふるさと」遠
野へ行ってみませんか。どんどはれ。

M・T